

2019

[共同研究]

古墳時代・三国時代における 日朝関係史の再構築

—倭と栄山江流域の関係を中心に—

高田貫太・李暎澈 編

共同研究の経緯と概要 高田貫太

【第1部】総論

栄山江流域の
古代政治体を見とす多様な視角 権五栄

倭・百済間の人的交通と外交 仁藤敦史

古墳からみた栄山江流域・百済と倭 金洛中

【第2部】集落と土器

栄山江上流域における
馬韓初現期の集落編年と意義 鄭一

栄山江流域における
古代集落の景観と構造 李暎澈

百済・栄山江流域と
倭の相互交流とその歴史的役割 中久保辰夫

【第3部】馬匹

栄山江流域における馬匹生産の受容と展開 諫早直人

【第4部】墳墓

栄山江流域における前方後円墳の築造技術 林智娜

栄山江流域における円筒埴輪の展開過程 廣瀬 覚

5世紀の朝鮮半島西南部における
竪穴式石室・竪穴系横口式石室の構造 高田貫太

横穴式石室の築造技法からみた百済と湖南地方 山本孝文

【第5部】国際環境

朝鮮半島南部の鏡と倭韓の交渉 上野祥史

綿貫観音山古墳と朝鮮半島 右島和夫



国立歴史民俗博物館 研究報告

第217集
令和元年9月

Bulletin of the National Museum of Japanese History

Collaborative Research:
Reconstruction of the History of Japan-Korea Relations
in the Kofun Period of Japan and the Three Kingdoms
Period of Korea: Focusing on the Relationship between
the Country of Wa and the Yeongsan River Basin

Edited by TAKATA Kanta
and LEE Youngcheol

国立歴史民俗博物館 研究報告 第217集

【共同研究】
古墳時代・三国時代における
日朝関係史の再構築

—倭と栄山江流域の関係を中心に—

高田貫太・李暎澈 編

国立歴史民俗博物館研究報告 第217集
[共同研究]古墳時代・三国時代における日朝関係史の再構築
倭と栄山江流域の関係を中心に

目次

共同研究の経緯と概要	高田貫太	1
第1部 総論		
栄山江流域の古代政治体を見とおす多様な視角	権五栄	13
倭・百済間の人的交通と外交 倭人の移住と倭系百済官僚	仁藤敦史	29
古墳からみた栄山江流域・百済と倭	金洛中	47
第2部 集落と土器		
栄山江上流域における馬韓初現期の集落編年と意義 硬質無文土器の段階を中心に	鄭一	73
栄山江流域における古代集落の景観と構造	李暎澈	97
百済・栄山江流域と倭の相互交流とその歴史的役割	中久保辰夫	115
第3部 馬匹		
栄山江流域における馬匹生産の受容と展開	諫早直人	153
第4部 墳墓		
栄山江流域における前方後円墳の築造技術	林智娜	183
栄山江流域における円筒埴輪の展開過程	廣瀬 覚	213
5世紀の朝鮮半島西南部における 竪穴式石室・竪穴系横口式石室の構造	高田貫太	239
横穴式石室の築造技法からみた 百済と湖南地方 熊津期百済と栄山江流域の造墓集団	山本孝文	261

第4部 国際環境

朝鮮半島南部の鏡と倭韓の交渉	上野祥史	291
綿貫観音山古墳と朝鮮半島	右島和夫	319

Contents:

TAKATA Kanta	Progress and Overview of the Collaborative Research	1
Part I		
KWON Ohyoung	Perspectives on the Ancient Political Bodies of the Yeongsan River Basin	13
NITO Atsushi	Human Traffic and Diplomacy between Wa and Baekje: Emigration of the Wajin and Bureaucrat of Kudara of the Wajin Native Place	29
KIM Nakjung	The Yeongsan River Basin, Baekje and Wa, from the Perspective of the Kofun	47
Part II		
JUNG II	The Chronology of the Settlements of Early Mahan Period in the Upstream Area of the Yeongsan River and its Significance: Focusing on the Stages of the Hard Mumun Pottery	73
LEE Youngcheol	The Landscape and Structure of the Ancient Settlements in the Yeongsan River Basin	97
NAKAKUBO Tatsuo	The Mutual Interaction between Wa, Baekje, Yeongsan River Basin and its Historical Role	115
Part III		
ISAHAYA Naoto	The Acceptance and Development of Horse Breeding in the Yeongsan River Basin	153
Part IV		
IM Jina	The Construction Technologies of the Keyhole-shaped Tumuli in the Yeongsan River Basin	183
HIROSE Satoru	The Process of Development of Cylindrical Haniwa in the Yeongsan River Basin	213
TAKATA Kanta	Structure of Pit-Type Stone Chambers and Pit-Type Stone Chambers with Side Entrance in the Southwestern Part of the Korean Peninsula in the 5 th Century	239
YAMAMOTO Takafumi	Baekje and Honam Seen from the Perspective of Construction Techniques of Corridor-Type Stone Chambers: Tomb Groups of the Ungjin Period Baekje and Yeongsan River Basin	261

Part V

UENO Yoshifumi	—————	Mirrors of the Southern Korean Peninsula and Negotiations between Wa (Japan) and Korea	291
MIGISHIMA Kazuo	—————	The Watanuki Kannonyama Mound and the Korean Peninsula	319

第1部 総論

第2部

集落と土器

第 3 部
馬 匹

第4部

墳墓

第 5 部
國際環境

『国立歴史民俗博物館研究報告』投稿要項

平成 29 年 3 月 27 日 研究推進センター会議決定

平成 31 年 3 月 5 日 研究推進センター会議改正

1 定義

- 1.1 『国立歴史民俗博物館研究報告』(以下「研究報告」という。)は、国立歴史民俗博物館(以下「本館」という。)の研究資源、機器等を利用した研究成果を掲載する本館における最も基本的な刊行物であり、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」(以下「論文等」という。)を発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 1.2 通常号は、本館が定期的に刊行する研究成果の報告書であり、特集号は、本館共同研究等の成果報告書である。
- 1.3 掲載される論文等には、次の区分がある。
 - 一 論文：歴史学、考古学及び民俗学並びにそれらと関連する諸分野に関するオリジナルな研究の成果をまとめたもの、若しくはある分野に関する研究史や研究成果、現状、展望等を総覧し、総合的にまとめたもの
 - 二 研究ノート：研究の中間報告等大きな研究の一部をなすもの、若しくは予察、試論、着想等を提示するもの
 - 三 資料紹介：歴史・考古・民俗・博物館に関する資料の紹介や解題・翻刻を主としたもの
 - 四 調査研究活動報告：本館の事業や研究活動の内容について報告するもの、若しくは調査・研究の基礎情報を提示するもの
- 1.4 研究報告は、原則として本館のリポジトリに登録される。

2 資格

- 2.1 通常号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の教職員、客員教員、名誉教授
 - 二 本館運営会議委員
 - 三 本館の共同研究員等
 - 四 本館の教員が代表者である科学研究費助成事業の研究分担者等
 - 五 本館が受け入れた各種研究員、研究協力者(リサーチアシスタントを含む)
 - 六 本館特別共同利用研究員のうち受入期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 七 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻の大学院生
 - 八 本館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 九 その他、研究報告編集委員会(以下「委員会」という。)が適当と認めた者
- 2.2 特集号に投稿できる者は、次のとおりである。なお、共著の場合は筆頭著者が以下に該当する者であること。
 - 一 本館の共同研究員等
 - 二 本館の教員が代表者である科学研究費助成事業の研究分担者等
 - 三 その他、本館共同研究等の代表が必要と判断し、委員会が適当と認めた者

3 投稿

- 3.1 原稿は、区分を問わず未発表のものとする。また、二重投稿は認めない。
- 3.2 原稿の区分は、執筆者が明示する。なお、この区分の最終的な調整は委員会において行う。
- 3.3 原稿の使用言語は、原則として日本語とする。他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳又は抄訳を付ける。
- 3.4 「論文」には、800 字以内の日本語要旨及び 400 語程度の英語要旨並びに 5 項目以内のキーワードを付ける。
- 3.5 原稿の分量は、区分を問わず刷り上がりが 40 頁(写真、図版、表及び論文要旨等を含む)以内を目安とする。なお、1 頁の文字数は 1,700 字を目安とする。3.6 特集号の原稿の総分量は、原則として、刷り上がりが 500 頁(写真、図版、表及び論文要旨等を含む)以内に収めるものとする。
- 3.7 カラー図版は、原則として認めない。希望する場合は理由を提出し、委員会の許可を得る。

- 3.8 写真・図版・翻刻等の研究報告及び本館のリポジトリへの掲載に関する許諾は執筆者がとり、使用料も原則として執筆者が負担する。
- 3.9 その他、原稿の執筆・提出に関する詳細は別に定める。

4 受理・採録

- 4.1 原稿は、委員会で定めた査読者による査読を経て、委員会が審査の上、掲載の可否を決定する。
- 4.2 原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。返却を希望する写真、図版等のある場合には申し出ること。
- 4.3 掲載順序は、通常号においては「論文」、「研究ノート」、「資料紹介」、「調査研究活動報告」の順とし、同区分の場合は著者の五十音順とする。特集号においては本館共同研究等の代表が定める。

5 権利関係

- 5.1 研究報告の編集著作権は大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあり、論文等の著作権は執筆者に属する。
- 5.2 本館は、本館のリポジトリに関して複製権と公衆送信権をもつ。但し、執筆者は公開に適さない部分の削除・非公開を表明できる。
- 5.3 執筆者の所属機関等のリポジトリでの公開は、研究報告の紙型を用いた場合は刊行から1年後以降、データのみ場合は初出を明記した上で奥付日以降に可能とする。なお、所属機関等のリポジトリに公開を希望する場合は、本館に連絡する。

6 その他

- 6.1 本館で作成する抜刷りは、100部までとする。
- 6.2 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 6.3 本要項の改訂に際しては、委員会が原案を作成し、研究推進センターが決定する。
- 6.4 提出先・連絡先

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
国立歴史民俗博物館研究協力課 研究報告担当（代表電話 043-486-0123）

附 則

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（通常号）及び『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項（特集号）は廃止する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

〔国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会〕

館外委員（五十音順）

伊藤紫織 尚美学園大学芸術情報学部
大石泰夫 國學院大學文学部
見城悌治 千葉大学国際教養学部
寺前直人 駒澤大学文学部

館内委員

川村清志 研究部民俗研究系
小島道裕 研究部歴史研究系
島津美子 研究部情報資料研究系
松木武彦 研究部考古研究系（編集委員長）
関沢まゆみ 研究部民俗研究系（研究推進センター長）

国立歴史民俗博物館研究報告 第217集
〔共同研究〕古墳時代・三国時代における日朝関係史の再構築
—倭と栄山江流域の関係を中心に—
高田貫太・李暎澈 編

●
令和元年（2019）9月20日 第1版第1刷発行

（非売品）

発行所

●
大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123(代)

印刷・製本所

●
株式会社 弘文社

〒272-0033 千葉県市川市市川南2-7-2 ☎047-324-5977

〔装丁〕 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History

Collaborative Research :
Reconstruction of the History of Japan-Korea Relations
in the Kofun Period of Japan and the Three Kingdoms Period of Korea :
Focusing on the Relationship between the Country of Wa and the Yeongsan River Basin
Edited by TAKATA Kanta and LEE Youngcheol

Progress and Overview of the Collaborative Research
TAKATA Kanta

Part I

Perspectives on the Ancient Political Bodies of the Yeongsan River Basin
KWON Ohyoung

Human Traffic and Diplomacy between Wa and Baekje :
Emigration of the Wajin and Bureaucrat of Kudara of the Wajin Native Place
NITO Atsushi

The Yeongsan River Basin, Baekje and Wa,
from the Perspective of the Kofun
KIM Nakjung

Part II

The Chronology of the Settlements of Early Mahan Period
in the Upstream Area of the Yeongsan River and its Significance :
Focusing on the Stages of the Hard Mumun Pottery
JUNG Il

The Landscape and Structure of the Ancient Settlements in the Yeongsan River Basin
LEE Youngcheol

The Mutual Interaction between Wa, Baekje, Yeongsan River Basin and its Historical Role
NAKAKUBO Tatsuo

Part III

The Acceptance and Development of Horse Breeding in the Yeongsan River Basin
ISAHAYA Naoto

Part IV

The Construction Technologies of the Keyhole-shaped Tumuli in the Yeongsan River Basin
IM Jina

The Process of Development of Cylindrical Haniwa in the Yeongsan River Basin
HIROSE Satoru

Structure of Pit-Type Stone Chambers and Pit-Type Stone Chambers
with Side Entrance in the Southwestern Part of the Korean Peninsula in the 5th Century
TAKATA Kanta

Baekje and Honam Seen from the Perspective of Construction Techniques of Corridor-Type Stone Chambers :
Tomb Groups of the Ungjin Period Baekje and Yeongsan River Basin
YAMAMOTO Takafumi

Part V

Mirrors of the Southern Korean Peninsula and Negotiations between Wa (Japan) and Korea
UENO Yoshifumi

The Watanuki Kannonyama Mound and the Korean Peninsula
MIGISHIMA Kazuo

